

## ◆挑戦してみよう◆

1 →p.32

2 ア.王仁 イ.阿知使主 ウ.秦

## || 発展 ||

1 首長層だけで構成されていたヤマト政権が、新たに台頭してきた有力農民層を組み入れ、直接支配下に置こうとしたため、それまで古墳をつくるようなことがなかった有力農民層までが、古墳をつくるようになったから。

## ⑥古墳時代の人びとの生活

1.環濠 2.余剰生産物 3.堅穴住居 4.朝鮮半島  
5.土師器 6.須恵器 7.祈年の祭 8.新嘗の祭 9.  
銅鏡 10.太占の法 11.盟神探湯

## ⑦古墳の終末

1.方墳 2.八角墳

## ⑧ヤマト政権と政治制度

1.江田船山 2.氏姓 3.氏 4.姓 5.田莊 6.部曲  
7.ヤツコ(奴婢) 8.臣 9.伴造 10.国造 11.筑紫  
国造磐井

## ◆挑戦してみよう◆

1 豪族は集落から離れた場所に居館をかまえ、幅広い濠や柵列をめぐらせた。民衆の住む集落には環濠などはみられず、複数の堅穴住居や平地住居、高床倉庫などからなる屋敷がいくつか集まって一つの村になっている。

2 ア.大連 イ.伴造 ウ.部(品部) エ.国造 オ.  
屯倉 ハ.部曲

## || 発展 ||

1 埼玉県の稻荷山古墳出土の鉄劍銘と熊本県の江田船山古墳出土の鉄刀銘に、「ワカタケル大王」とみられる大王名と、その統治をたすけた豪族名がみられる。「ワカタケル大王」は倭王武とされる雄略天皇にあたると考えられ、東西それぞれの地域に武の勢力が及んでいたことを示している。

## 3 古墳とヤマト政権

P.12~17

### ①古墳の出現とヤマト政権

1.前方後円墳 2.箸墓古墳 3.堅穴式 4.ヤマト政  
権

### ②前期・中期の古墳

1.前方後円墳 2.円墳 3.埴輪 4.堅穴式 5.粘土  
櫛 6.横穴式 7.三角縁神獣鏡 8.武人 9.大仙陵  
古墳 10.大王

## ◆挑戦してみよう◆

1 墳丘上には埴輪が並べられ、斜面は葺石がふかれていた。

2 前期は銅鏡など呪術的・宗教的色彩の強い副葬品が多いが、中期になると鉄製武器や武具の占める割合が高くなり、馬具も加わる。前期には司祭的な性格であった首長が、中期になると武人としての性格が強くなったことを示している。

## || 発展 ||

1 近畿地方に形成された政権に他の地域も組み込まれ、他地域でも同様の古墳がつくられるようになったと考えられる。上毛野・丹後・吉備・日向などの豪族がヤマト政権とよばれる政治的連合体において、重要な位置を占めていたため、大規模な前方後円墳を築造することができたのであろう。

### ③東アジア諸国との交渉

1.南北朝 2.高句麗 3.百濟 4.新羅 5.鉄資源  
6.好太王 7.渡来人 8.『宋書』倭國伝 9.倭の五王

### ④大陸文化の受容

1.漢字 2.儒教 3.仏教

### ⑤古墳文化の変化

1.横穴式 2.形象埴輪 3.装飾古墳 4.ヤマト政権  
5.群集墳